

伊豆諸島三宅島産ゾウムシ科甲虫の分布記録

小島弘昭

〒 243-0034 厚木市船子 1737 東京農業大学昆虫学研究室

Distributional records of some curculionid-beetles from Is. Miyake-jima of the Izu Islands, Japan

Hiroaki KOJIMA

Summary: Distributional notes on the three curculionid-beetles collected from Is. Miyake-jima of the Izu Islands, Tokyo, are provided with some biological data: *Demimaea fascicularis* (new to the island and the Izu Islands), *Lepidepistomodes nigromaculatus* (new to the island) and *Phyllolytus variabilis* (confirmed the occurrence on the island). Occurrence of *Arrhaphogaster hachijoensis* on Is. Miyake-jima was not confirmed despite the recent continuous surveys.

伊豆諸島三宅島のゾウムシ科甲虫相は、Morimoto & Miyakawa (1985)の研究により大幅に進展した。その後、Kojima & Agemori (2012)ならびに Kojima & Zhang (2014)により 18 種が追加記録され、これまでに 66 種が記録されている。筆者は最近の調査において以下の分布上興味深いゾウムシ科甲虫 3 種を採集しているので、若干の生態的知見とともにここに記録しておく。あわせて原記載時以降記録のない三宅島産ハチジョウヒメカタゾウムシ *Arrhaphogaster hachijoensis* についても、近年の調査結果を報告する。

なお、本調査研究は日本学術振興会科研費 (Nos. 24510333, 15K06937) ならびに東京農業大学大学院重点化プロジェクトの支援を受けて行われた。

1. タバゲササラゾウムシ *Demimaea fascicularis* (Roelofs, 1879)

これまで伊豆諸島から本属に含まれる種は採集されていなかった。本属の種はクワ科植物に依存するものが多く、本土において本種はイヌビワ *Ficus erecta* から採集される (森本, 1984)。今回、三宅島ではコウゾ類の 1 種 (おそらくヒメコウゾ *Broussonetia kazinoki*) から得られた (Figs. 1, 2)。

同島や伊豆諸島にはイヌビワに加え、ハチジョウグワ *Morus kagayamae* などのクワ科植物も普通に見られるが、これまでの伊豆諸島における調査で本種がそれらから得られたことはなく、伊豆諸島ではコウゾ類のみを利用している可能性がある。

11 exs., 坪田, 20-21.vi.2015. 伊豆諸島新記録。

2. オオクチブトゾウムシ *Phyllolytus variabilis* (Roelofs, 1873)

本種は Kojima & Agemori (2012) により、三宅島火の山峠産の 1 個体をもとに伊豆諸島から記録された。それまで伊豆諸島における度重なる調査でもまったく得られておらず、偶産の可能性も疑っていたが、今回まとまった数が得られた。前回とは異なる産地で、島内各所に分布している可能性もあるが、なぜ伊豆諸島内での分布が三宅島のみ限定されているのかは定かでない。すべてスタジイから得られた。

12 exs., 南戸林道, 20.vi.2015.

3. クロホシクチブトゾウムシ *Lepidepistomodes nigromaculatus* (Roelofs, 1873)

伊豆諸島ではこれまでに新島, 御蔵島, 八丈島



Figs. 1-2. Photographs of adult food plant of *Demimaea fascicularis*. — 1, *Broussonetia* sp. (Tsubota forest road, Is. Miyake-jima); 2, ditto, leaves with feeding traces by adults.

から記録がある (Morimoto & Miyakawa, 1985). 前種に混じてスダジイから得られた。

8 exs., 南戸林道, 20.vi.2015; 2 exs., 坪田林道, 20.vi.2015. 三宅島新記録。

4. ハチジョウヒメカタゾウムシ *Arrhaphogaster hachijoensis* Morimoto & Miyakawa, 1985

本種は三宅島, 御蔵島, 八丈島産の標本をもとに記載され, 南伊豆諸島の固有種と考えられていた。その後, 採集記録の少ない種であったが, 最近, 御蔵島や八丈島ではスギの植林地内ならびにその周辺で得られることが明らかとなると同時に, 本種と考えられる個体群が伊豆半島の南西部低地からも発見され, 同様にスギやヒノキの植林地周辺でのみ見つかることが明らかとなった (Kojima, 2014; 小島, 2015)。本種の三宅島からの採集記録は, 原記載時の南戸林道で 1979 年 5 月 16 日に採集された雌雄各 1 個体のみで, 筆者は同島からのその

後の採集記録を知らない。

2013 年 5 月および本年 6 月に同島を訪し, 南戸林道を含め, 本種が生息する可能性のある島内各所のスギ植林地ならびにその周辺地域を調査したが, 発見することはできなかった。

引用文献

- 小島弘昭, 2015. 伊豆諸島御蔵島産ゾウムシ上科甲虫目録。Mikurensis, Mikurashima, 4: 17–44.
- Kojima, H. & H. Agemori, 2012. Curculionid-beetles (Coleoptera) newly recorded from Miyake-jima Island, the Izu Islands, Japan. *Elytra*, Tokyo, (n. ser.), 2: 164.
- Kojima, H. & C. Zhang, 2014. Additional records of weevils new to the fauna of Miyake-jima Island, the Izu Islands, Japan (Coleoptera, Curculionoidea). *Elytra*, Tokyo, (n. ser.), 4: 3–4.
- 森本 桂, 1984. ゾウムシ科. Pp. 269–345, pls. 53–68. 林 匡夫・森本 桂・木元新作 (編著), 原色日本甲虫図鑑 IV. vii+438 pp., 72 pls. 保育社, 大阪.
- Morimoto, K. & S. Miyakawa, 1985. Weevil fauna of the Izu Islands, Japan. *Mushi*, Fukuoka, 50: 19–85.

(2015 年 11 月 12 日受領, 2016 年 2 月 6 日受理)

【短報】チュウジョウコメツキモドキの徳之島からの初記録

チュウジョウコメツキモドキ *Paederolanguria cyanea* (M. Chûjô, 1967) (オオキノコムシ科コメツキモドキ科) (図 1) は沖縄本島から記載された種で, これまでに他の島からの記録はない。筆者は沖縄本島から北東約 110 km に位置する徳之島で採集された本種の標本を入手しているので, ここに報告する。

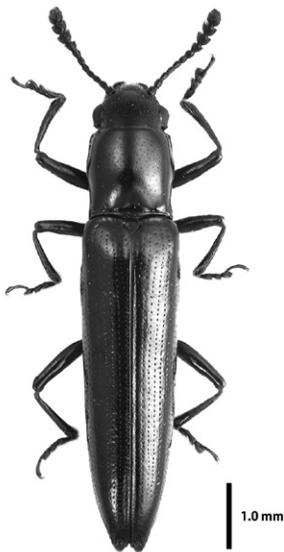


図1. チュウジョウコメツキモドキ.

1 ex., 鹿児島県 徳之島 三京, 28. III. 1996, 野津裕 採集, 筆者保管。

国内の同属他種の分布については, オオシマコメツキモドキ *Paederolanguria oshimana* (Miwa, 1936) が徳之島の北東約 43 km に位置する奄美大島からのみ知られている。徳之島を含め奄美大島から沖縄本島間の小島における調査はまだ充分ではないもの

の, このことから日本における *Paederolanguria* 属の種の境界線は, 比較的近い徳之島と奄美大島の間にある可能性が示唆された。

なお, 日本からはほかに 1 種, 沖縄本島から *Paederolanguria okinawana* (M. Chûjô, 1970) という種が記載されているが, チュウジョウコメツキモドキとの識別は困難であり, これについては別途分類学的な検討を要するものと考えられる。

末筆ながら, 貴重な標本を提供していただいた野津裕氏 (神奈川県), 先に徳之島における本種の生態写真をインターネット上で公開していた富士雅章氏 (鹿児島県) には, 本報告を執筆することを快諾していただいた。ここに御礼申し上げる。

引用文献

- Chûjô, M., 1967. Languriid-beetles from Thailand, Laos, Viet-Nam, S. China, Is. Hainan, Formosa and Ryukyus. *Studies on the languriid-beetles* (12). *Memoirs of the Faculty of Education Kagawa University* 2 (149): 1–42.
- Chûjô, M., 1970. *Coleoptera of Loo-Choo archipelago* (II). *Memoirs of the Faculty of Education, Kagawa University* 11 (192): 1–56.
- 三輪勇四郎, 1936. 奄美群島の甲蟲類. *関西昆虫学会會々報*, 6: 11–30, 2 pls.

(松尾 進 817-0011 対馬市厳原町宮谷 98 和貴寮 411)